

今年度の感染症の総括

【講演要旨】

平成 30 年度もまた感染症が問題となった年であった。麻疹の集団感染が沖縄で発生し、風疹が関東地域を中心に流行した。結核の院内感染の報告もなされており、赤痢のような輸入感染症によって、宿泊施設の閉鎖も報告された。梅毒も確実に増加しており、適切な対応が求められている。インフルエンザについては新しい作用機序による抗インフルエンザ薬が市場に投入されたが、その作用機序や耐性についての理解は不十分と言える。感染対策については、血液体液曝露後のフォローアップの期間が HIV および HCV で短縮された。

講演では 1 年間を振り返って、感染症全般および感染予防についての話をする予定である。（講師より）

《講師》 矢野 邦夫 先生

浜松医療センター 副院長 兼 感染症内科科長 兼 衛生管理室長

《日程》 2019 年 2 月 4 日(月) 19 時 15 分～21 時

19 時 15 分～帝人ファーマによる情報提供 19 時 30 分～講演会

《会場》 アクトシティ浜松コンgresセンター 41 会議室

お車でお越しの方は、周辺の有料駐車場をご利用ください。

《対象》 医師、歯科医師、スタッフ

《共催》 帝人ファーマ(株) 《参加費》 無料

※参加者には、当日、院内感染対策講習会受講票をお渡しします。

参加ご希望の方は、FAX（054-281-7473）にてお申込み下さい。

◇ 講習会「今年度の感染症の総括」に参加する

会員名 _____ 参加人数 _____ 名

医療機関名 _____ 所在地 _____ 市・町